



有佐小だより

令和4年2月9日

第9号

文責 岩見 浩史

オンライン授業実践

3学期が始まって約一ヶ月が経ちました。子どもたちは、休み時間には運動場に出て、寒さに負けずに元気よく鬼ごっこをしたりドッジボールをしたりしています。職員室の窓から眺めながら、友だちと楽しく過ごす子どもたちの姿に元気をもらっています。



3学期がスタートしたときには、県内の新型コロナウイルスの感染状況は落ち着いていましたが、あっという間に感染者が増加し、1月21日からまん延防止等重点措置が熊本県全域に適用されました。八代市でも連日数十人の新規感染者が報告され、本校も部分的な臨時休業や長期間自宅待機しなければならない場合が出てきました。有佐小学校では、昨年7月からこのような場合に備えて、子どもたちが自宅でタブレットパソコンをネットワークに接続し、Web会議システムを使って教室の担任とやりとりする練習を行ってきました。それを実際に活用する機会となりました。

自宅で待機している子どもたちは、朝の会や授業にオンラインで参加します。担任も子どもたちも練習の成果を発揮し、問題なく接続できています。画面越しですが、お休みしている子どもの顔を見ると何だかホッとします。教室で担任から問題が出されると、自宅にいる子も問題に取り組んでいる様子が伝わってきます。担任が自宅にいる子を指名すると、まるで教室にいるかのように「はい、〇〇です。」と答えていました。休み時間等フリークできる時間になると、友だちとおしゃべりに興じる姿が見られました。何らかの事情で学校を休まなければならないときでも、学校とのつながりを維持し、子どもたちの学びを止めないためのツールとして、タブレットパソコンやネットワーク環境の有効性を感じています。



ICT教育推進モデル校の研究に取り組んできたので、有佐小学校の職員や子どもたちは、タブレットパソコン等の使い方には慣れている方だと思います。しかし、オンラインで参加している子が見やすい資料の提示の仕方や学習の様子の見取り方など、まだまだ研究の余地があります。昨年11月に研究発表会は終わりましたが、本校の研究と挑戦は続いています。

挑戦！ハイブリッド授業参観

保護者の皆様に先日お知らせしましたとおり、2月22日(火)に予定しています授業参観は、来校とオンラインのハイブリッド型で行います。新型コロナウイルスの感染状況から授業参観や学習発表会を中止にせざるを得ない学校もあるようですが、本校は元々児童数がそれほど多くないことに加え、オンラインを併用することで密を避け、子どもたちの学習の様子を保護者に見ていただきたいと考えました。仕事の関係等で人が集まるところに行くことを控えていらっしゃる方でも、画面越しですがお子様の学習の様子を見ていただくことができます。さらに、オンラインにすることにより、遠くに住んでいらっしゃる祖父母等の参観も可能になるというメリットも考えられます。

今回は、これまで学習してきたことの成果をそれぞれの学級で発表します。子どもたちも教師もオンラインでの発表は初めてのことで、難しい点も出てくるかと思いますが、何事も実際にやってみて出てきた課題を乗り越えていくことで改善していくことができると思います。お気づきの点等ありましたら、ぜひ学校にお知らせください。

美しい花をいただきました

鏡町まちづくり協議会青少年育成部会の事業の一つとして「花いっぱい運動」があります。今年度は、八代農業高校で育てていただいたパンジーやビオラの苗と土、プランターをたくさんいただきました。卒業式や入学式の会場を華やかに美しくかざってくれると思います。お世話をいただいた八代農業高校の生徒さん・先生方、まちづくり協議会の徳田様、松田様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

